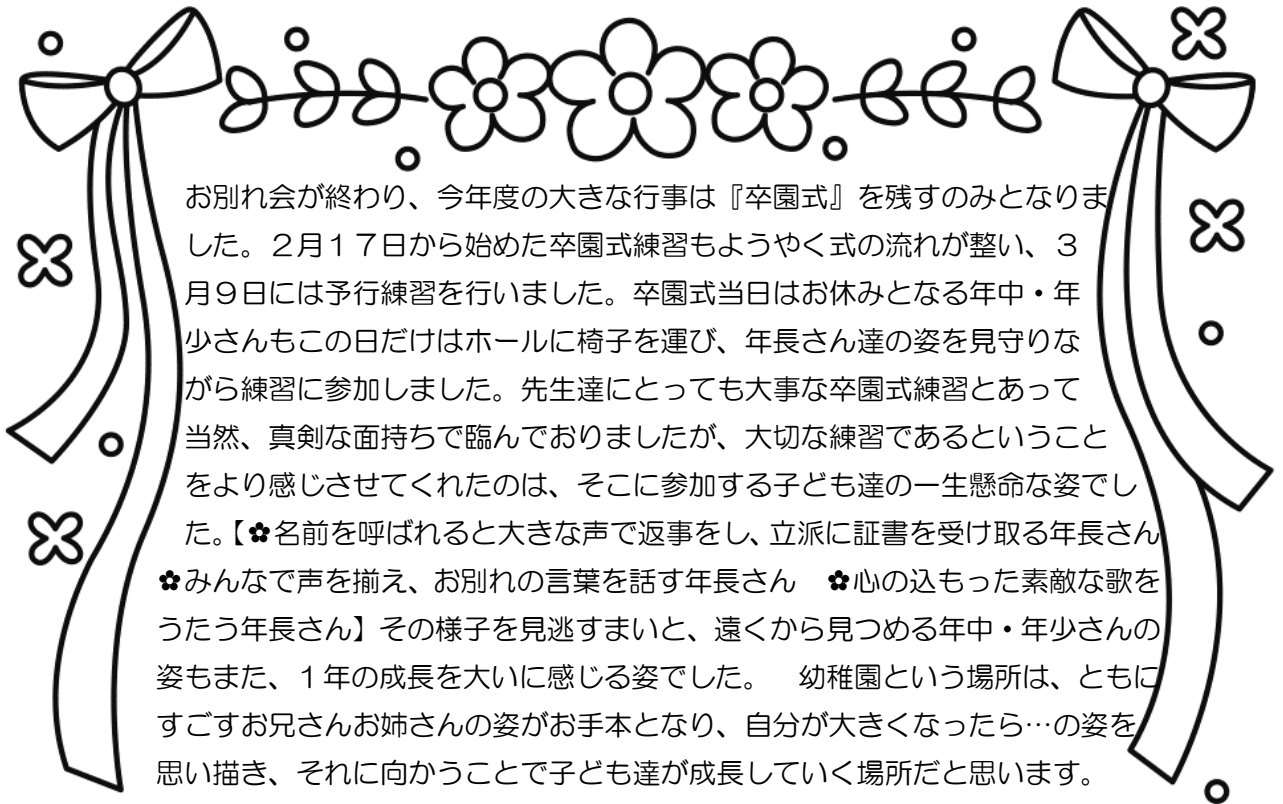


しみずっこ新聞

令和4年3月発行 第145号 清水学園付属幼稚園

ここ数日は、室内にいるよりも外に出た方があたたかい日が増え、春の訪れを肌で感じられるようになりました。春を心待ちにしながらも、その前にある“お別れ”は、まだまだ来ないで欲しい…という思いの毎日です。今週に入り雨の日が増え、卒園式が行われる金曜日にも“雨”との予報ですが、あたたかい雰囲気の中、笑顔の花を咲かせてお別れができたらいいな…と思っています☆



お別れ会が終わり、今年度の大きな行事は『卒園式』を残すのみとなりました。2月17日から始めた卒園式練習もようやく式の流れが整い、3月9日には予行練習を行いました。卒園式当日はお休みとなる年中・年少さんもこの日だけはホールに椅子を運び、年長さん達の姿を見守りながら練習に参加しました。先生達にとっても大事な卒園式練習とあって当然、真剣な面持ちで臨んでおりましたが、大切な練習であるということを感じさせてくれたのは、そこに参加する子ども達の一生懸命な姿でした。【❀名前を呼ばれると大きな声で返事をし、立派に証書を受け取る年長さん ❀みんなで声を揃え、お別れの言葉を話す年長さん ❀心の込もった素敵な歌をうたう年長さん】その様子を見逃すまいと、遠くから見つめる年中・年少さんの姿もまた、1年の成長を大いに感じる姿でした。幼稚園という場所は、ともにすごすお兄さんお姉さんの姿がお手本となり、自分が大きくなったら…の姿を思い描き、それに向かうことで子ども達が成長していく場所だと思います。

引き続きコロナの影響が残る令和3年度は、感染状況を見ながらの多少の緩和はあったものの、前年度同様、制限のある生活を送ってきましたが、この年を振り返り1番に思い浮かぶエピソードは「コロナの1年だった…」ではなかったことを、保護者の皆さまも覚えていてください！

令和3年度は、清水の子ども達が一生懸命頑張った、素敵な1年でしたよ☆



☆視聴覚検査を行いました！☆

※視力…2.5mの距離で片目をかくし、Cのマークの切れている方向を答えさせます。
※聴力…3mの距離から、ささやき声で単語を話しかけます。

お知らせいたしました結果に気になる所見があったお子様は、
かかりつけの病院で診てもらおうと安心ですね。

☆春先の検査ですと、つぼみさん・年少さんが、まだうまく言葉で伝えられないことがあるため、3学期に入ってからの検査を行っております。簡単な検査ですが、視力や聴力のトラブルの発見につながっていることも少なくありませんので、検査結果のお知らせを、必ずご確認ください。

視聴覚検査は、朝の自由時間や昼食後の時間を使って行いました。

会議室に一人で入り、私と向き合って検査を行います。

何日かけて187名全員と向き合い検査をしていくのは根気のいる作業でしたが、視力・聴力の確認はもちろんのこと、子ども達一人一人とやりとりをする中で、1年間の成長を感じることでできる嬉しい時間でもありました☆

☆年長さんから幼稚園へ…☆

今年の年長組・卒園製作は【下駄箱のクラス表示】です。

4月からは玄関で使用していきます。年長組みんなの力作！ぜひ、ご覧ください。



☆お別れ会を開きました☆

3月11日（金）、幼稚園のみんながホールに集合して『お別れ会』を開きました。

今年度最後の大集合です！

年長さんをはさむように座った年中・年少組の間に拍手で入場した年長さんが座り、各学年の出し物・年長さんから幼稚園へのプレゼント贈呈（手作りカレンダー・下駄箱のクラス表示）を行いました。



【年長さんの出し物は…】

「思い出のアルバム♪」の曲を替え歌にして、清水幼稚園での思い出を歌ってくれました。今年度は、平成30年度から開始した“満3歳児保育”の、初年度に入園したつぼみさん達が卒園となります。つぼみさんだった10名の子ども達がステージに並び、♪つ～ぼ～み～のこ～ろを～おもいだしてご～らん あんなこと～ こんなこと～ あ～ったでしょ～♪と歌い出した時には、あの、幼かったみんなのことを思い出し、涙涙の先生達でした。

曲が終わると、先生方へ子ども達からのメッセージカードのプレゼントもありました☆

☆ 今年度最後の『しみずっこ新聞』となりました。5月より事務に島崎先生が加入し、Instagram等の発信を受け持ってくれることとなったため、この『しみずっこ新聞』は、不定期の発行とさせていただきます。〈コロナ対応等で、発行のタイミングが難しかったことも発行数が減ってしまった原因であります。涙〉心機一転、来年度もポジティブに発行していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。そして…これまでおつき合いいただきました年長さんの保護者の皆様…、ご愛読ありがとうございました！ 富田